

オーナーblog 第20話 「頑固な子供」 (2024.7.15)

これはサッカー界のレジェンド中田英寿さんが、自分を一言で例えた表現である。

“頑固” と言えば、“爺さん” の代名詞であるが、子供は何を意味しているのか。

B'z 稲葉さんの you tube では、「やりたい夢を実践していく存在」として、“こども” を象徴にしていた。世界で通用している人材は、頑固な子供のようなのである。孫正義・大谷翔平…

先生から見れば、指導したことを素直にしない生徒であろう。

納得していないことは意地でもしない表現型を、頑なにとり続けることもあるだろう。

だから、優等生を育成する教育方法は、彼らには指導としての意味をなさない。

京都大学に進学した卒業生3名のうち、中期からの2名は、まさに「頑固な子供」であった。いくせい流で天賦の才を開花したのだが、基本的な指導は、否定をせずにやりたいようにさせて失敗をもらおう。失敗後にフィードバックして、視点に気付かせる方法であった。視点さえ気が付けば、自ら解決していく頑固さを兼ね備えているので、時間が経過すれば解決している。“正義” 感の強い先生に当たらないことが時間の節約になる。

中田さんの思考法は、“いくせい流” と類似点が多かったが、妥協や言い訳を考える時間すら無駄で、努力が徹底されていると感じた。天才と〇〇〇〇は紙一重と言うが、度が過ぎると“いじめ” にあい、コミュニティーから“除け者” にされる危険性が高まる。

スポーツなので結果が見えやすいが、イチローさんがマリナースの後半、チームメイトから反感を買っていた状況をみれば、貴乃花さん同様、どの世界でも大変そうである。